

## 目標達成計画

作成日：令和 4年 4月 24日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 |      |  |   |   |            |
|----------|------|--|---|---|------------|
| 優先順位     | 項目番号 | 現状における問題点、課題   | 目標                                      | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容  | 目標達成に要する期間 |
| 1        | 23   | 一人ひとりの思いや希望、意向などを把握し、ケア活かしていく姿勢はあるものの、スタッフの思いが先走りそこに本人本位という一番大切なことが抜けていることがある。もう一度原点に立ち返り「本人本位」に重点を置き、ケアを見直していく。 | ひもときシートを利用して、本人の困りごとか、スタッフの困りごとかを明確化する。 | ひもときシート活用の研修・説明を行い、担当スタッフを中心に実際に使用していく。ケアプラン作成時にも本人様の意向として組み込めるようにしていく。 | 12ヶ月       |
| 2        | 6    | 身体拘束廃止の取り組みを行っているが、利用者様との距離が近いからこそそのグレーゾーンの声かけが現状続いている。  | 根本的に身体拘束や虐待についての理解を深める(意味を知る)。          | 身体拘束や虐待をなくすための意味を理解できるような内容の研修の実施する。日頃より身体拘束廃止委員会から啓発運動を実施する。           | 12ヶ月       |
| 3        |      |  |   |   | ヶ月         |
| 4        |      |  |   |   | ヶ月         |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。